

まちづくりに努めていかなければならず、NHK大河ドラマ龍馬伝、坂の上の雲などの波及効果を生かせる大きなチャンスととらえており、新しい事業にも取り組んでいきたいと考えています。

この高速道路の無料化のメリットを最大限活用していくためには、宇和島市、西予市、八幡浜市など南予の広域における観光客の受け入れのための体制づくり、また連携したPRなどを検討することが重要であると考えており、南予地域の各自治体へ呼びかけを行っているところです。

また、観光協会や商工会議所などを含めて実行委員会を組織し、高速道路無料化を有効に活用していくため、「ロードTO龍馬」と題して龍馬脱藩の道を活用したミニウォーク事業や広域連携事業などを実施し、地域のPRに努めていきたいと考えています。

山鳥坂ダム建設事業

問 河川整備計画と生活再建事業について

答 水没移転者等の生活再建については、現在国の有識者会議で、今後の治水のあり方について幅広い治水対策案の実案手法、新たな評価軸及び総合的な評価の考え方などが、ことしの夏までにまとめられると聞いています。その後、個別ダムの取り扱いを検討されることとあり、その過程において、市として肱川の治水対策における山鳥坂ダムの必要性を強く訴え、生活再建に向けた対策が早期再開できるよう努めていきたいと考えています。

地域振興計画については、愛媛県に対し、水源地域整備計画策定に向け申請を行い、県では昨年6月に計画の前段となる水源地域指定の申し出を国に対して行っていました。事業凍結により、手続が中断している状態です。当市としては地域住民の生活にかかわる緊急的な事業については、できる限り実施すべきと考えており、特に、地域が強く望まれている日常生活に一番影響を与える水道施設や生活道路等の整備については、交付金事業を活用し、最

優先の課題として取り組んでいきたいと考えています。

住宅協会

問 事業内容と解散処理について

答 住宅協会は、設立後44年を経過し、これまで

業、その総事業費は約30億円となつています。住宅協会は市の施策としての企業誘致による雇用の創出や市民への住宅用地の供給など高度成長期から現在に至るまで、市民の職、住、遊の提供や公共事業への協力など当市の発展に多大な貢献をしてきたと評価されます。

また、事業実施に伴う利益や導水路等の社会資本の提供などを合わせると約6億円を超える額が、住宅協会から市に対して寄附いただいており、現在住宅協会の資産としては、3カ所の土地を保有しており、いずれも帳簿上の価格が販売予定価格を上回っているため、その差額相当分について市が支援するものです。

今後は、平成23年度に法

に基づく住宅協会の清算委員会を設立して、平成24年7月を目標としてすべての清算手続を終了し、解散をする予定です。

肱川橋架け替え

問 事業計画について

答 事業主体が国であることから、これまでのところ国土交通省大洲河川国道事務所主管のもと、肱川橋周辺まちづくり検討委員会が設置され、事業方針につき、検討が進められています。新しい橋梁は耐震性、

耐久性にすぐれ、周囲の景観にも溶け込みやすい「けた橋」案が採用される予定です。橋長はおおむね現状の180メートルで変更はないものの、歩道の幅員を現状の1・75メートルから3メートルに拡張するなど、利用者の利便性、安全性の向上に配慮した方針が出されています。

なお、肱川橋の架け替えは大規模な事業であるのに加え、肱南、肱北の導線からも現在の位置での架け替えが理想であり、工事期間中は、現在の橋と同規模の仮橋の設置が避けて通れず、仮橋の位置については、河川上流部への設置が有力となっております。当事業は仮橋の建設、新しい橋の架け替え、そして仮橋の撤去と大変手間のかかる事業となるのに加え、河川の洪水期を外しての施工となることから、おおむね10年程度の期間を要するのではないかと予想されており、市としても、早期完成に向け、住民の皆様方と協力しながら、鋭意努力していきたいと考えています。



架け替え事業が計画されている肱川橋